

平成27年2月6日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

お知らせ

陸海空一体となった名古屋港テロ対策等訓練に 海洋環境整備船「白龍」が参加します

1. 概要

2月12日(木)に名古屋港ガーデンふ頭及び前面海域において実施される「平成26年度名古屋港テロ対策等水際危機管理合同訓練」に、中部地方整備局名古屋港湾事務所所属の海洋環境整備船「白龍」が参加します。

本訓練は、「国際的テロリストの乗船した船舶が、近日中に名古屋港に入港し、本邦における協力者と接触し、爆発物等の密輸入を企てている。」という想定のもと、名古屋港に関わる危機管理官庁等による陸海空一体となったテロ対策等訓練(侵入事案対応訓練、海上訓練、陸上訓練、検疫感染症患者搬送訓練)です。

海洋環境整備船「白龍」は、テロリストが潜伏している外国籍貨物船として本訓練の陸上訓練に参加します。陸上訓練は、不審な小型船が異常接近した外国籍貨物船の船内を税関、入管、海保が調べたところ乗組員に扮したテロリストが逃走し、これを取り押さえ警察が逮捕。また、船内から不審物が発見され、税関のエックス線検査などの結果、爆発物と判明し、県警爆発物処理隊が処理を実施します。

- ・参加機関等 : 名古屋港港湾危機管理コアメンバー6機関、オブザーバー4機関
- ・参加人数 : 130名、車両16台、ヘリコプター1機、船艇9隻

2. 日時・場所 : 平成27年2月12日(木) 13時30分～15時00分
名古屋港ガーデンふ頭及び前面海域

3. 配布先 : 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムズ、日本海事新聞、海事プレス

4. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 久野(くの)
Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

平成26年度名古屋港テロ対策等水際危機管理合同訓練

1. 目的

テロ対策等の合同訓練を実施することにより、事案発生時の関係機関相互の連携及び対応状況を確認し、関係機関の連携をより一層強化するとともに、事案対応能力の向上を図ることを目的とする。

2. 訓練日時

- ・日時 平成27年2月12日（木）13:30～15:00
- ・場所 名古屋港ガーデンふ頭及び前面海域

3. 訓練想定

内閣官房が名古屋港港湾危機管理官（名古屋海上保安部長）に対し、次のとおり情報伝達及び指示をしたとの想定で実施する。

「国際的テロリストの乗船した船舶が、近日中に名古屋港に入港する。詳細は不明であるが、本邦における協力者と接触し、爆発物等の密輸を企てている。各機関と密接に連携し、警戒態勢を強化し、不審な人物、車両、船舶等の発見に努めるとともに、不測の事態に備え、万全の体制を取れ。」

4. 主催

名古屋港港湾危機管理コアメンバー会合及び名古屋港保安委員会

5. 訓練参加機関

名古屋港港湾危機管理コアメンバー6機関、オブザーバー4機関

コアメンバー：愛知県警察本部、名古屋税関、名古屋入国管理局、名古屋港管理組合、
名古屋海上保安部、中部地方整備局

オブザーバー：港警察署、名古屋検疫所、名古屋市消防局、名古屋港湾事務所

参加人員・車両：人員130名、車両16台、航空機1機、船艇9隻

6. 訓練内容

(1) 侵入事案対応訓練

フェンスを乗り越えて、ソーラス制限区域に侵入する不審者(釣り人)を発見、不法侵入容疑での事情聴取のため、警察署への同行求める。

(2) 海上訓練

外国船舶に接近する不審な小型船舶を名古屋海上保安部の船艇が立入検査しようとしたところ、逃走、ヘリコプターも交えて追跡のうえ捕捉する。小型船から火災が発生、消防船により放水消火する。

(3) 陸上訓練

外国船舶に合同船内検索を実施、船員に紛れていたテロリストを取り押さえる。また、船内で発見された不審物が爆発物と判明、撤去処理を実施する。

(4) 検疫感染症患者搬送訓練

外国船舶からエボラ出血熱の疑いのある患者を搬送する。